



平等・開発・平和

ともだち共立

第25号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

12月8日(土) 戸出コミュニティセンター

1月26日(土) 伏木コミュニティセンター

平成30年度粋メン養成講座「父子(祖父と孫)でクッキング」

講師 高岡市食生活改善推進協議会の皆さん

各回10組の親子が集まって開催されました。平成30年度粋メンプロジェクト事業と言うことで、お父さん(お爺ちゃん)と小学生のお子さんが、協力して料理を作るというイベントでした。作るメニューは「ととまる風ライスバーガー、貝だくさん味噌汁、フルーツポンチ」の三種類です!!

お子さんとお父さん達は、包丁やフライパンを上手に使い、講師の指導の下、フルーツポンチのパイナップルを切り、ととまるライスバーガーのととまるを焼き、味噌汁の出汁を取り、一時間ほどで3種類のメニューが完成しました。みんなで協力し、一生懸命に作り完成したメニューを親子で美味しく食べて、非常に楽しい時間でした。お父さんも料理できるんだ、ってお子さん達は思ったかもしれません。粋メンパパさんとお子さんと、新たな発見のある良いイベントだったと思います。



女性の活躍について

高岡市男女平等・共同参画課長 長澤 雅春



4月に男女平等・共同参画課長に着任して、やがて1年になり、現在の第20期富山県男女共同参画推進員の皆さんと同じ時間を過ごしています。推進員の皆様には、地域への男女平等・共同参画の普及にご尽力いただき、感謝申し上げます。

少子高齢化・人口減少社会に直面する現代において、国では、我が国最大の潜在力である女性の能力の活用が不可欠であるとし、女性活躍推進を最重要課題の一つとして位置づけています。「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」や「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の施行をはじめ、あらゆる分野で女性が能力を発揮するための基盤整備が進められています。

しかし、社会理念・習慣や政治の場では「男性の方が優遇されている」と感じている人がいまだに多かったり、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識が根強かったりと、意識啓発が進んでいない部分が依然残っています。

固定的な性別役割分担意識は、自殺問題の要因ともなっています。自殺者の7割は男性です。「稼ぎ手」としての役割を求められる男性は、その経済的圧力から時間労働や経済問題などに苦しめられ、自殺リスクが女性よりも高くなると言われています。また、大きな自然災害が頻発している近年、被災地では、自治会役員の男性だけ避難所運営を行っているために、女性のニーズを把握できていないという問題が発生しました。さらに、女性のみが炊き出しを行い、大きな調理器具を使用した調理を続けることで肉体的疲労が蓄積するという問題もありました。

これらの問題解消の希望となるのが、職場や地域などあらゆる場面での女性の参画・能力発揮です。これからの社会で求められるのは、「適材・適時・適所」です。男性・女性に関係なく、適材を適所で活かすこと、できる時にできる人がフレキシブルに行うということが大切です。「男だから・女だから」ではなく、「これがしたいから」「これが得意だから」という思いで行動し、活躍できる環境づくりが行政の役目だと思っています。

高岡市では、第2次男女平等推進プラン・DV対策基本計画に基づき、全庁的に連携しながら各施策に取り組んでいます。今後もあらゆる機会をとらえ、情報提供や啓発活動等に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成31年度は、拠点施設である男女平等推進センターの開館15周年にあたり、様々な企画を実施します。また、推進員主催のミニ地区懇談会も開催されます。男女平等・共同参画について知る・考える機会の多い年度となりますので、ぜひ参加ください。

家庭・職場・地域などあらゆる場面ですることから、一人ひとりが着実に取り組み、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指しましょう。

悩んでいることはありませんか ひとりで悩まないでご相談ください

DV(配偶者や交際相手からの暴力) 家庭や職場のトラブルや悩み事など

高岡市男女平等推進センター相談室

TEL 0766-20-1811



主なデータ

平成29年度の相談件数: 3,030件(延件数)

主な主訴: ①DV 1,712件(56.5%)
 ②生き方 409件(13.5%)
 ③子どもの問題 243件(8.0%)

年齢別: ①40代 1,290件(42.6%) ②30代 720件(23.8%)

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

相談時間 9:30~16:30 月・火・水・金
14:00~20:00 木

【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。)

※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。
(相談業務は毎週土曜日・日曜日と祝日がお休みです。)

高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階) ●高岡駅前

編集後記

早いもので、私が男女共同参画推進員そして広報部員を務めさせていただいて一年が過ぎようとしています。男女共同参画について何も分からないところからのスタートでしたが、講演会などで見たり、聞いたりしたことが今後の生活に少しでも活かさればと思えました。最後に、広報発行にあたり、今までご協力いただいた全ての皆様に本当に感謝申し上げます。

至らない点も多々ございましたが、ありがとうございました。
(山室 亜希子)

広報部員

副会長 盛田 英子
 部長 山室亜希子
 才川 晃子 前田 浩規
 田中 博之 山本 一介
 小林佐知子 岡野 識樹
 深美 伸次 有坂 康永
 寺林 洋
 関澤 潤

平成30年度総会・定例会 4月19日(木) 高岡市男女平等推進センター

平成30年度総会と新推進員による定例会が実施されました。今年度は新推進員の入替となるため、引き継ぎを行った後、各部会に分かれ今年度の活動について説明や話し合いを行いました。新推進員が、男女共同参画推進員とはどのようなものなのかを学んでいくための第一歩を歩き出しました。



講演会 5月19日(土) 富山県民会館 ホール

第20期富山県男女共同参画推進員依頼書交付式・平成30年度富山県男女共同参画推進員全体研修会

講演 『男女がともに輝く明日へ ～世界から見た日本～』

講師 関西学院大学客員教授

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン理事 大崎 麻子 さん



講演会では、発展途上国での女性について話をされました。女性が働いて収入を得られるようになると、その子どもに教育を受けさせることができます。また、教育を受けた女性が社会で活躍すると、女性たちが意見を言えるようになり、地域社会や経済が発展します(女性のエンパワメント)。これは先進国にも当てはまり、男女平等共同参画が進み、女性が活躍できる社会の仕組みが整っている国ほど経済成長や社会発展の伸びしろは大きいとされています。少子高齢化が進む日本でも、女性が能力を発揮し活躍できるようになれば、国際競争力が向上するのではないかと話されました。



定例会 6月23日(土) 高岡市男女平等推進センター

多様性のある職業時間と生活時間 ～仕事・子育て・介護の時間管理～

男性介護者の会「みやび」、家族を介護する女性の会 “あゆみサークル” 代表 平尾 隆 さん



高岡生まれで、奥様を介護されて19年目の男性介護者。関西からUターン後、男性介護者の会「みやび」、家族を介護する女性の会“あゆみサークル”代表として多方面でご活躍中の平尾 隆さんが、『多様性のある職業時間と生活時間』と題して、ご自身も介護者として、夫として、社会人としての体験を基に、子育てや家族の介護に直面したとき、仕事と生活の時間管理をどのようにすればよいか、自らの心身の健康を維持しながら、仕事ができ趣味や娯楽、友人との関わりを継続できるバランスの取れた生活を送るための方法について講演されました。

後半では子育てや介護での、仕事と生活面の時間の使い方・時間管理等についてワークショップを行いました。子育て世代や実際に介護されておられる方など、いろいろな世代の方のお話やアドバイスを聞くことができ、大変参考になりました。

子育てや介護を担っても安心して暮らすことができる社会づくりを地域一体となり、我々も支援していかなければいけないということを学べる素晴らしい講演会でした。

この広報紙は高岡市のホームページからもご覧いただけます。
ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会
https://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html

Eフェスタ ワークショップ 9月7日(金) 高岡市男女平等推進センター

『デートDV 予防啓発講座～デートDVを知っていますか?』

アプローチ(富山県男女共同参画推進員高岡連絡会経験者の会)

「いい関係をつくろう～アイ(わたし)メッセージを伝えよう～」をテーマに高岡市の中学1年生を対象に実施している講座を大人になった私たちが中学1年生の気分で体験しました。



デートDVとは聞きなれない言葉でしたが、調べたところ交際中の若いカップルの間で起こるさまざまな暴力のことでした。講座では学校における子ども同士のいじめ問題や、夫婦間のDV問題など多岐にわたる内容の説明がありました。中でも聞きなれない言葉で「面前DV」というものがあり、子どもの前で配偶者や家族に対する暴力等をふるう事とのことでした。この行為が子どもの心の傷となり「心理的DV」と言われる虐待になるそうです。グループディスカッションでは、DVについてどこまでが適用されるかなど充実した意見交換がおこなわれました。今回アプローチがテーマとしている「アイメッセージ」とは相手も自身も大切に話す話し方、「『私』を主語にする・結論を先に言う・気持ちを率直に伝える・代わりの案を出す」ということを心がければ自分の素直な気持ちを相手にうまく伝えることができると学びました。実際に普段の生活の中でうまく実行することは難しいかもしれませんが、今回の講座で教わったことを意識し、周りとのよい関係作りを活かしていきたいと感じました。



7月21日(土)

七夕飾りの作成

8月1日からの高岡七夕まつりに向けて七夕の飾り作成に参加しました。

自分たちで飾りを作成したり、願い事を書いたりして自分たちが子どもだった頃を思い出しながら楽しい時間を過ごすことができました。本番には鮮やかに飾られた七夕が立てられ、たくさんの人たちに来てもらえればと思いました。

私たちの七夕は「マイ七夕コンテスト」で高岡市商店街連盟会長賞を受賞しました。



民間支援基金パサパは皆様の支えで成り立っています!
DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します
DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。
賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。
(会費・寄付振込先)
ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876
口座名 サポート基金パサパ
問合せ先:080-6358-0838
パサパって?
フランス語で、「一歩一歩」という意味です。